
第 81 回数理社会学会大会 (JAMS81) プログラム

日時：2026 年 8 月 28 日 (金) ～8 月 29 日 (土)

会場：京都大学 本部キャンパス

大会委員長：太郎丸 博 (京都大学)

開催校：京都大学

1 参加費

一般 (会員)	4,000 円	学生・院生 (会員)	1,000 円
一般 (非会員)	8,000 円	学生・院生 (非会員)	4,000 円
当日券 (共通)	8,000 円		

2 懇親会費

一般 (会員・非会員)	6,000 円	学生・院生 (会員・非会員)	4,000 円
子ども (18 歳未満)	2,000 円		

3 主なスケジュール

時間			
8 月 27 日	13:00～15:00	編集委員会	
	15:00～17:00	ワンステップアップ・セミナー	
	17:00～19:00	理事会	
8 月 28 日	9:00～9:10	開会挨拶	
	9:10～10:50	自由報告Ⅰ (第 1 部会)	自由報告Ⅱ (第 2 部会)
	11:00～12:40	萌芽的セッションⅠ	
	12:40～13:40	昼食休憩	
	13:40～15:20	萌芽的セッションⅡ	
	15:30～16:30	学会賞受賞講演	
	16:40～17:40	総会	
	18:00～20:00	懇親会	
8 月 29 日	9:00～10:40	自由報告Ⅲ (第 3 部会)	自由報告Ⅳ (第 4 部会)
	10:50～12:30	萌芽的セッションⅢ	
	12:30～13:30	昼食休憩	
	13:30～15:10	萌芽的セッションⅣ	
	15:10～15:20	閉会挨拶	

4 会場

- ・ 受付：文学部校舎 1F 第 1 講義室
- ・ 主な会場：文学部校舎 2F 第 3 講義室・第 4 講義室

- ・ 会員控室・抜き刷り交換コーナー：文学部西館 1F ぶんこも
- ・ 懇親会：京都大学本部構内 カンフォーラ

5 口頭報告者へのお願い（自由報告）

- ・ 部会開始 5 分前に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。報告 15 分、討論 10 分です。
- ・ 会場にはパソコンを設置しておりません。パソコンはご自身で持参してください。HDMI 端子接続が使用可能です。持参の機器は、開場後に必ず接続テストをお願いします。
- ・ 発表用ファイルは当日持参してください。
- ・ 配布資料は報告直前に配布してください。残部は持ち帰るか、抜き刷りコーナーに置いてください。
- ・ （司会者の方々へ）部会開始 5 分前にお集まりください。報告 12 分で 1 鈴、15 分 2 鈴、25 分 3 鈴を鳴らします。

6 ポスター報告者へのお願い（萌芽的セッション報告）

- ・ 1 日目の萌芽的セッションIで報告される方はポスターを来場後なるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外してください。セッション後 15 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・ 1 日目の萌芽的セッションIIで報告される方はポスターを昼食休憩中（12:40～13:40）になるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外してください。セッション後 15 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・ 2 日目の萌芽的セッションIIIで報告される方はポスターを来場後なるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外してください。セッション後 15 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・ 2 日目の萌芽的セッションIVで報告される方はポスターを昼食休憩中（12:30～13:30）に貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外してください。セッション後 15 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・ 最大で A0（縦 1189×横 841mm）のスペースが利用可能です。報告ごとにポスター位置が指定されています。
- ・ ポスターの貼りつけには画鋏あるいはセロハンテープ（いずれも開催校が用意）が使用可能です。
- ・ 部会開始 5 分前に集合してください。

7 問い合わせ先

研究事務局 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

関西学院大学 社会学部社会学科 長松奈美江

E-mail: jams.research[at]gmail.com

nagamatsu[at]kwansei.ac.jp

大会開催校 〒606-8317 京都府京都市左京区吉田本町（本部キャンパス）

京都大学 文学研究科 太郎丸博

8月27日（木）

13:00～15:00	編集委員会	文学部校舎	1F 会議室
15:00～17:00	ワンステップアップ・セミナー	文学部校舎	2F 第3講義室
17:00～19:00	理事会	文学部校舎	1F 会議室

8月28日（金）

8:45 開場

9:00～9:10 開会挨拶 大会委員長 太郎丸博 文学部校舎 2F 第3講義室

9:10～10:50 自由報告I・自由報告II

【第1部会】 家族・ライフコースの計量社会学 文学部校舎 2F 第3講義室
司会 北村友宏
(労働政策研究・研修機構)

1	中学受験参入と家族内進学経験 ——受験行動の再生産をめぐって	濱本真一（日本大学）
2	子持ち家庭における親介護負担のジェンダー格差 ——パネル調査を用いた介護開始前の個人年収の分析	○鳥居勇氣（東京大学）・ 塚田祐介（青山学院大学）
3	Becoming a Grandparent — Three-Generational Reproductive Structures and Their Cohort Changes—	○筒井淳也（立命館大学）・ 菊澤佐江子（法政大学）・ 安元佐織（大阪大学）・ 李ウエンウエン（立教大学）
4	結婚タイミングにおける自己強化的ダイナミクス	中本大輝（一橋大学大学院）

【第2部会】 数理社会学——理論とモデル構築 文学部校舎 2F 第4講義室
司会 清水裕士（関西学院大学）

1	地球重力が規定する出生性比	池周一郎（帝京大学）
2	AI均質化におけるシグナリングゲーム	石田淳（関西学院大学）
3	地位階層制の关系的理論 ——有限承認条件からの場の秩序の生成——	瀧川裕貴（東京大学）
4	多項目二値調査における潜在特性の測定構造検証	渡辺光一（関東学院大学）

****休憩（10分）****

1	飼育犬の外部効果を考える：社会関係の検討	○石黒格（立教大学）
2	Do Workplace Disparities Shape Perceptions of Precarious Workers?	那須蘭太郎（東京大学大学院）
3	住まいは移民の帰属意識を支えるのか ——社会関係資本に着目した心理的統合の分析	○金希相（大阪公立大学）・ 南亨佑（高麗大学大学院）
4	STEM系専門職の人事評価におけるジェンダーバイアスの検証	○荒海麻由佳（お茶の水女子大学大学院）・ 脇田彩（お茶の水女子大学）
5	複数 CLI AI エージェントの並行運用を支える状態-表情分離アーキテクチャ——可視化システム kaoiro の設計	櫻井雄大（桃山学院大学）
6	衛星夜間光データから見た日本のナイトライフの変容	○下川詩乃（関西学院大学大学院）・ 井下敬翔（関西大学大学院）
7	リアルタイム AI インタビューの社会的応用可能性	○川端健嗣（東京大学）・ 瀧川裕貴（東京大学）
8	大卒比率と高所得世帯割合の関連は地域でどう異なるか ——空間的非定常性の検証	○大和冬樹（関西学院大学）・ 平原幸輝（早稲田大学）
9	Dependent Interviewing は職業についての回答行動をどう変えるか：自記式パネル調査における実験的検討	○鎌田健太郎（東京大学）・ 石田賢示（東京大学）・ 有田伸（東京大学）
10	社会における格差への理解と教育政策への選好	森坂太一（東北大学大学院／ 日本学術振興会）
11	移住にともなう格差・混住・置換について：ABMによる試論	堀内史朗（阪南大学）
12	ボランティア参加意欲に対する選好の影響 ——利他性・不平等回避・ウォームグローの識別による検討	○濱森望（関西学院大学）・ 清水裕士（関西学院大学）
13	暴力事件・メディア表象・犯罪リスク認知：自然実験による検証	阪口祐介（関西大学）
14	R パッケージ rABM ——エージェント・ベースド・モデリングパッケージ	○佐藤圭一（一橋大学）・ 梁昊（コーネル大学大学院）
15	余暇時間の制約が主観的幸福感や満足度を与える影響の可能性	千葉真（東北大学）
16	戦後日本におけるネオ・マルクス主義階級論の有効性の検証 ——所得格差に対する説明力比較から	斉藤友介（早稲田大学大学院）
17	生活困窮者自立支援制度の実施状況と自治体間比較	後藤香織（東京大学大学院）

18	日本における不安定雇用と well-being ——多次元的な雇用条件に着目した実証分析	塚田祐介（青山学院大学）
19	陰謀論信奉の構造の検討：モダニティ・科学世論・陰謀論 （MASCoT）予備調査の分析（2）	山本耕平 （国際経済労働研究所）
20	パートナー選択が協力を促進できないとき： 悪意あるゴシップの検討	岩村麟太郎（東北大学大学院）

****昼食休憩（60分）****

13:40～15:20 萌芽的セッションII

文学部校舎 1F
第1・第2講義室

1	圏論による 1980 年代の日本における象徴的な三つの社会学理論 について——『基礎社会学』／現象学的社会学／言語派社会学	大山智徳
2	デジタル時代における文化的趣味の時間的変化	○YAN DONGXIN（東北大学 大学院）・呂沢宇（東北大学）
3	職場体験学習の実施状況と小学生・中学生の将来展望との関係： 全国学力・学習状況調査を用いた分析	山口哲司（東京大学大学院）
4	根拠・想起・改善による Agentic AI 活用基盤の設計	○奥信将人・ 櫻井雄大（桃山学院大学）
5	事例からみた人口移動に関する各種調査の考察	湊麻紀子（神戸大学大学院）
6	有限集団における双行列ゲームの戦略の固定確率の二次近似とそ の応用	○関口卓也（理化学研究所） ・大槻久（総合研究大学院 大学）
7	子ども食堂の空間的ミスマッチ分析：機械学習と空間ベイズ モデルによる支援空白地域の特定	田野裕雅（東北大学大学院）
8	生得的資質は努力で獲得可能なものとして語られるようになった のか？——英語コーパスを用いた能力主義的表現の時系列分析	西本恵太（明治大学）
9	離島における進学機会の測定と比較	濱本真一（日本大学）
10	ニュース生産場としての YouTube の分析	○瀧川裕貴（東京大学）・ 永吉希久子（東京大学）
11	二つのポピュリズム：モダニティ・科学世論・陰謀論（MASCoT） 予備調査の分析（1）	太郎丸博（京都大学）
12	自由と責任をめぐる判断の規定要因	内藤準（成蹊大学）

13	学力と努力量が生徒の成長マインドセットに与える影響： PISA2022 を用いたマルチレベルモデルによる検討	○鈴木啓太（東京大学）・ 村本由紀子（東京大学）
14	女性管理職と男女間賃金格差： 「賃金構造基本統計調査」を用いた分析	鈴木健一郎 （名古屋大学大学院）
15	 Job Search Feedback and Gender Differences in Persistence	○WANG ZHICHAO（東北 大学大学院）・LYU ZEYU （東北大学）
16	出生順位と学校外教育利用に関する一考察	北村友宏（労働政策研究・ 研修機構）
17	解釈主義的合理性に基づく命題的態度の公理的構成 2	清水裕士（関西学院大学）
18	オーガニック食品の購入行動における家族の役割	吉岡洋介（千葉大学）
19	Cultivated or Sorted? Neighborhood Cultural Amenities and Intergenerational Mobility	濱田樹（大阪大学大学院）
20	ベイズ共分散構造モデリングを用いた測定不変性の検証	小川和孝（東北大学）

15:30～16:30 学会賞受賞講演

16:40～17:40 総会

18:00～20:00 懇親会

文学部校舎 2F 第3講義室

文学部校舎 2F 第3講義室

カンフォーラ

8月29日(土)

8:45 開場

9:00～10:40 自由報告Ⅲ・自由報告Ⅳ

【第3部会】 調査・実験・測定の方法
司会

文学部校舎 2F 第3講義室
前田忠彦
(社会データ構造化センター
／統計数理研究所)

1	職業コーディングの不確実性から推定へ：自然言語処理の確率分布と推算値を用いた方法	○藤原翔（東京大学）・高橋和子（敬愛大学）
2	非匿名性は協調的制裁を可能にするか？ ——オンライン掲示板実験における負の評判蓄積メカニズムの検証	○大林真也（青山学院大学）・稲垣佑典（成城大学）・瀧川裕貴（東京大学）・謝拓文（東北大学大学院）
3	辞書式順序モデルによる交互作用効果の符号決定 ——Great Equalizer 仮説の検証をめぐって	○石橋拳（社会データ構造化センター）・菅桂太（国立社会保障・人口問題研究所）・金井雅之（専修大学）

【第4部会】 地域・国際化・評価の計量社会学
司会

文学部校舎 2F 第4講義室
湊邦生（高知大学）

1	都道府県別合計特殊出生率の格差とその空間的分析	佐々木洋介（新潟産業大学）
2	専門学校留学生の就職選好に関する探索的分析 ——給与条件と労働環境のトレードオフに着目して	○王地裕介（大阪大谷大学）・脇長宏行（四天王寺大学）
3	多文化共生関連団体はどのような自治体に成立しているか： NPO 法人データベースを用いた計量分析	中村創（一橋大学大学院）
4	コンクール進行に伴う評価構造の分化：第19回ショパン国際コンクール審査データの分析	辻竜平（近畿大学）

1	移民の増加は交通事故を増やすのか？ ——都道府県データを用いた分析	アイヒホルツァー・シュテファン (橋本財団ソシエタス総合研究所)
2	音楽産業の社会関係 ——生産のネットワークはいかに構造化されているのか	山内信明 (東京大学大学院)
3	高知大学地域協働学部「地域協働実践・卒業研究」の計量テキスト分析: 学成果物の教育研究への活用を目指す議論に向けて	○湊邦生 (高知大学) ・ 松本明 (高知大学)
4	トピックモデルを起点とした質的分析における代表語の不在と意味捕捉の拡張 ——大規模インタビューデータをもとに	中田知生 (中京大学)
5	外国人による居住地選択シミュレーション	○小田中悠 (京都先端科学大学) ・ 織田輝哉 (慶應義塾大学)
6	第2回ソーシャル・ウェルビーイング・アジア調査 日本調査の概要 ——ウェルビーイング指標の他調査比較と属性別記述	○石橋挙 (社会データ構造化センター／統計数理研究所) ・ 稲垣佑典 (成城大学) ・ 前田忠彦 (社会データ構造化センター／統計数理研究所) ・ 佐藤嘉倫 (京都先端科学大学) ・ ホメリヒ・カローラ (上智大学) ・ 金井雅之 (専修大学)
7	多様なネットワークは援助を受けることに役立つか: エゴセントリック・ネットワークデータをもちいた互酬性規範の分析	数土直紀 (一橋大学)
8	Steam ゲームレビューを対象とした計量社会学的研究	楊孟宇 (東京大学大学院)
9	男女格差の背景にある、人々の「選択の多様性」を左右する社会環境要因の検討 ——対人相互作用を規定する地域の流動性に着目して	○小林愛佳 (東京大学大学院) ・ 鈴木啓太 (東京大学大学院) ・ 村本由紀子 (東京大学大学院)
10	学生の早期就職活動への参加メカニズムについて	中川勝太 (九州大学大学院)
11	文化的オムニボアはどのように卓越化されるのか—— Atypical(非典型的)なカテゴリ横断コンテンツの受容について YouTube を用いた計量的探究	大竹晃平 (東京大学大学院)

12	親の離婚・再婚が子どもの学習時間・進学期待に与える影響：変化の向きと非変化時の状態を区別したパネルデータ分析	○小西凌（三重大学） ・ 鈴木健一郎（名古屋大学大学院）
13	1990 年代以降の日本の大学における分野別教員ポスト・求人の変化	高橋祐貴（東京大学大学院）
14	運動論的交換モデルを用いた不平等減少の探索的シミュレーション分析	小野佑理（関西学院大学大学院）
15	両立支援制度の利用が配置転換の推薦に与える影響	深井綾乃（東京大学社会科学研究所／お茶の水女子大学大学院）
16	育児期の余暇時間——性別、就業状態による比較検討	斉藤裕哉（東京大学）
17	Human Capital or Signaling? A Comparative Test of the College Wage Premium Using Survey Data and University Selectivity	松宮慎治（城西大学）

****昼食休憩（60 分）****

1	日本におけるデジタル養育とデジタル不平等の再生産	謝伊琳（東京大学大学院）
2	一般的信頼のシステム信頼性	三隅一人（九州大学）
3	AI 研究と社会学の認識論の差異から考える子ども LLM エージェント構築の方法——社会シミュレーションによる公立小学校の学級空間のモデリングに向けて	○渡壁晃（京都大学）・ 宮澤和貴（大阪大学）
4	アカデミアにおけるマタイ効果の数理モデルとその検証——学振 DC 採用者と不採用者のキャリア比較	山口侑平（東北大学大学院）
5	商品設計における特性と価格のメカニズム分析	薬師寺一憲 （青森中央学院大学）
6	OECD（2025）改訂版ユーダイモニア尺度の妥当性検証——日本における個人主義的／関係的ウェルビーイングの観点から	○金井雅之（専修大学）・ 石橋拳（社会データ構造化センター／統計数理研究所）
7	同一労働同一賃金は達成されているか：ジョブ内正規・非正規賃金格差の計測	福井康貴（名古屋大学）
8	ポスト就職氷河期世代のキャリア形成	黒川すみれ（福岡県立大学）
9	高等教育無償化は子どもの進学先に対する親の選好を変えるか：校種間の差異に着目して	太田裕一郎（大阪大学大学院）
10	職場のフリーライダーの4年後、10年後：JGSS-2009/2013/2019 ライフコース・パネル調査の分析	○小林盾（成蹊大学）・ 内藤朋枝（成蹊大学）
11	ネットワーク上での併用可能性のある最適応答ダイナミクス	古川真守（東京科学大学大学院）
12	学校への信頼と親の教育実践の関連——宿題支援と学校外教育利用に着目して	○南部桂裕（北海道大学大学院）・ 笹田照央（京都大学大学院）・ 小西凌（三重大学）
13	DW-NOMINATE を用いた台湾立法院における党派性の空間分析	○朱詠而（九州大学）・ 毛塚和宏（九州大学）
14	拡散過程モデルに基づく社会的価値志向性測定の拡張：平等等価点課題と社会的ジレンマ課題の比較検証	○辻翔瑛（関西学院大学大学院）・ 清水裕士（関西学院大学）
15	若年世代の権威主義の強まりに対する学校歴・職歴の効果	遠藤優太（京都大学大学院）
16	自然災害の公的支援制度が果たす役割について	前田豊（信州大学）

17	都道府県別大学進学率指標の定義上の課題	寺田悠希（高知大学）
18	有権者の政治的ポジションと階層的地位の関連	桑名祐樹（国士舘大学）
19	ソフト・パワーの限界：日本における韓国、中国、米国のポップカルチャーへの興味と国家イメージ	○梁光宇（京都大学大学院）・ Lee Ruda（京都大学大学院）

15:10～15:20

閉会挨拶 大会委員長 太郎丸博

文学部校舎 2F 第3講義室

（備考）

1. ○印は登壇者を示します。[E] は英語による報告です。The [E] symbol stands for English presentations.
2. 「抜き刷り交換コーナー」を設けます。論文、報告書、マニュアル、自作ソフトなどを置けます。事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます。
3. ワンステップアップ・セミナー参加には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください。
4. 大学敷地内は、全面禁煙となっております。ご理解とご協力をお願いいたします。